

2024年1月15日

## 申請理由書

申請者 住所 東京都町田市森野 2-2-22  
氏名 町田市代表者 市長 石阪 丈一

鶴川駅周辺は「町田市都市計画マスタープラン」及び「鶴川駅周辺整備基本方針」により、町田駅に次ぐにぎわいの拠点として「副次核」に位置付けられています。

本申請建築物は、鶴川駅周辺再整備事業に伴い、駅南北の連絡性を向上させるとともにバリアフリー経路の確保及び地域の回遊性の向上を図ることを目的に公共用歩廊付属のエレベーターの設置を計画致しました。

設置場所は、鶴川駅南土地区画整理事業区域から小田急小田原線を横断し併願している北口広場への南北自由通路、駅舎及び鶴川駅北口広場に至ります。

### (1) 交通について

本公共用歩廊は、4 基の橋脚で支える設計です。4 基の橋脚は、歩道上に設置するため、本公共用歩廊が道路を通行する一般車両の妨げになることはありません。また、電車線を新たに整備する計画はなく、本公共用歩廊の周辺にある電線は地中化されているため、車道部舗装面から公共用歩廊の下端までの上空離隔を 5.5m として設計しています。この上空離隔を 5.5m 確保することで、消防車両等の緊急車両も問題なく通行できます。なお、本公共用歩廊は道路管理者が管理する施設となるため、通行の用途以外には利用されません。

### (2) 防火について

主要構造部はすべて不燃材とし、また隣地建築物から 5m 以内を耐火構造としております。本公共用歩廊の周囲で火災が発生した場合において、消防活動上支障がないことを確認すると共に、公共用歩廊が延焼を抑制する防火性能を持つ設計となっているため、隣接する建築物からの避難を妨げない建築物となっております。

### (3) 安全について

道路橋示方書に基づく耐震設計を行い、十分な耐震性能を有することを確認しており、地震による倒壊等、隣接する建築物への影響はありません。

#### （４）衛生について

本公共用歩廊の屋根材は、アルミハニカムパネルのフッ素樹脂塗装、柱・梁は鉄骨の上に耐候性塗装、床は滑りにくいタイルを貼ることにより、環境衛生上の維持管理しやすい設計とします。

上屋と床面に排水施設を設け、橋脚部へ雨水を処理する設計とします。また、床面に横断勾配を設けることにより、床面に雨水が溜まらない設計となっております。

また、工事完成後の維持管理につきましては、町田市道路部で行います。

以上の事から本件については安全上、防火上及び衛生上他の建築物の利便を妨げ、その他周囲の環境を害するおそれがないと認められるので、建築基準法第44条第1項4号の規定に基づく許可申請を行います。